

新歓 伊豆ヶ岳 尾ノ内溪谷 山行報告

【山城】奥秩父

【ルート】

2日目 尾ノ内溪谷

山逢の里キャンプ場→尾ノ内溪谷→梵の湯

【日程と天気】

5/26(日)快晴

【メンバー】

2日目 CL 狩野、時田、江橋、堀田、秋本、夏見、下牧、海保、小川

【山行報告】

先ずは新歓にお招きいただき有難う御座いました。

3名の幹事さんと各リーダーの皆様、計画から当日の山行まで大変お世話になりました。

2日目 尾ノ内溪谷 参加メンバー9名その内新人5名 沢初体験3名

日本百名山の両神山を水源とする尾ノ内溪谷は、小鹿野八景のひとつに挙げられる緑と清流の美しい景勝地で、冬には氷柱で賑わうことでも有名です。モンベルのシャワークライミングのツアー開催場所で、沢登り未経験者でも安心して参加できるコースなので、新人の我々も楽しく参加することが出来ました。

8:10 入溪 5月下旬の朝早い時間ということもあり気温・水温共に低く、沢に入ると水は冷たく感じます。沢沿いの木々は新緑の時期で美しく、水は澄んでいてとても綺麗。沢に入るといろいろと戸惑うことばかり。水飛沫で川底の様子が分からず、深みに嵌って腰まで水に浸かってしまう。また、初めて履く沢靴のフェルトのグリップ力に感動しつつ、うっかりすると滑るというのを繰り返し、少しずつ足元の感覚を慣らしていきました。高さのある岩場ではロープで確保しながら、9:45 入溪地点から1.5km程進み折り返し地点に到着。30分程の休憩も日差しが無いと体が冷えてしまうため、行動食を取りながらコーヒー・紅茶で体を温める。下山は登ってきた沢を巻きながら、時にはダイブして泳ぎ、私以外の沢初体験の参加者もだいぶ動きが練れてきている様子。最後に大きな滝の下で狩野さん・堀田さん・海保さんが懸垂下降の練習。ほかのメンバーは大きな滝に打たれ、頭からずぶ濡れになりながら記念撮影を楽しみました。11:30 駐車場到着。

沢登りの入門編ですが、新たな山行のジャンルを体験でき、童心に帰って楽しませて頂きました。狩野リーダー有難う御座いました。

山行報告 小川

尾崎さん



伊豆ヶ岳山頂



二日目 尾ノ内溪谷 駐車場



入溪地点手前のつり橋

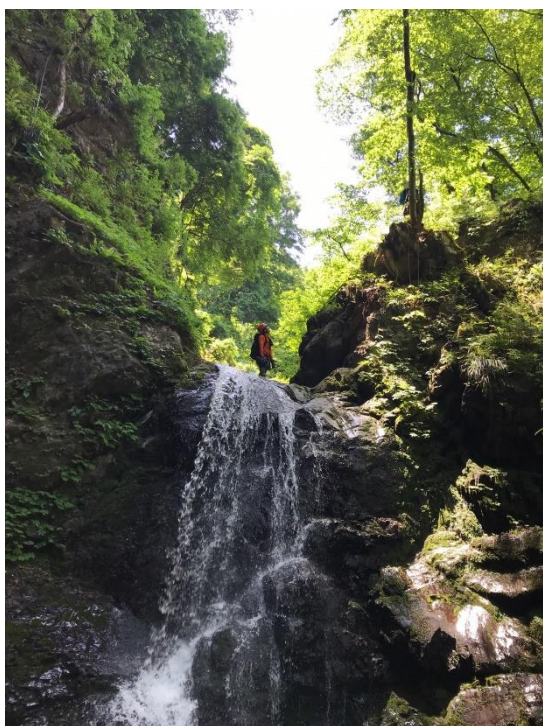


高さのある場所ではロープで確保



新人 夏見さん

折り返し地点で行動食とコーヒー・紅茶で休憩



落差のある滝 この場所では懸垂下降断念



滝つぼの岩に挑む秋本さん